

千代田区男女共同参画センター情報誌

MIW通信 42

MIW（ミュウ）は、千代田区男女共同参画センターの愛称です。公募で区民から寄せられました。MIはman（男性）、Wはwoman（女性）、Iはintercommunication（情報や意見交換）の頭文字です。

2018

みゅうじろう
MIW マスコット
キャラクター



特集 1 デート DV 防止フォーラム
in 千代田

特集 2 市民から 政治への女性参画を！
パリテ・カフェ@神田

愛?

暴力?

束縛?

若者たちからのメッセージ



会場風景（千代田区役所 区民ホール）

デートDV 防止フォーラム in 千代田

昨年（平成 29 年）11 月、千代田区男女共同参画センター MIW では、デートDVについて、当事者世代の若者たちの発表とディスカッションを行うフォーラムを実施しました。若い世代からの積極的な発信に会場の参加者からは、刺激を受けたとの感想が寄せられました。

中央大学 NHP

寸劇を通して考える デートDV

中央大学の NHP（ノン
ハラスメントプロジェクト）

の田家裕也さんと李澤慶太
さんは、大学のハラスメン
ト防止啓発支援室と連携し
て自主的にハラスメントや
デートDVの防止啓発活動
に取り組んでいます。当日は
自分たちが台本を作り出演
したデートDVの寸劇の D
VD を上映し、作成過程な
どについて発表しました。

寸劇の 1 話目は、彼氏か
ら彼女へ、付き合いの制限
や自分を最優先しないこと
に対して怒りを爆発する話。
2 話目は、彼氏の趣味のぬ

いぐるみ収集をやめさせよ
うとする彼女との会話でし
た。殴る蹴るといった身体
的な暴力が出てくるわけでは
ありませんが、「行動の
制限や価値観の押し付けは
相手を尊重していないこと」
と訴えました。

NHP では、寸劇をただ
演じるだけではなく、デー
トDV する側・される側の
気持ちを役者として話し、
次に、役から離れて個人と
しての感想や意見も発表し
ます。

「大人や専門家から、これ
がデートDV と言われても、
自分自身に入ってこないこ
とが多い。でも、寸劇を通
して考えることで、デー
トDV について自分の言葉で
語れるようになる」と二人
は話していました。



左 田家裕也さん 右 李澤慶太さん



中央大学 NHP 発表風景

中央大学武石ゼミ

DVを「ジブンゴト」として考える取り組み

中央大学商学部武石ゼミには、身の回りの社会課題を自らが学び考えるためのテーマのひとつにDVがあります。今年度ゼミのDVチームに入ったメンバーは5人、うち4人が男子学生でした。DVの実態について知ろうと、学生たちは被害者から話を聞き、DV家庭で育ち、現在、学習や心理的支援を受けている子どもと一緒に勉強や遊び、食事を共にする経験をしました。



左から小澤公太郎さん、石塚丸さん、末松佳峰さん、齋藤徹さん、松永陸さん



寸劇風景

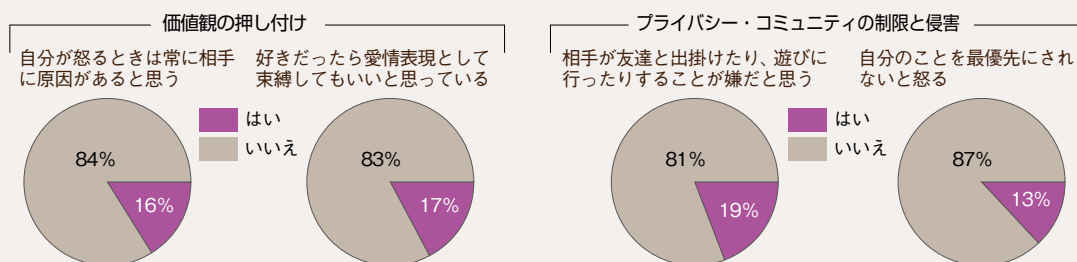
短い時間でも実際に暴力被害の当事者に会ったことで、学生の皆さんは、自分たちの周りにある暴力の芽について考えるようになりました。

そこで若者たちの現状と意識を知ろうと、恋人との関係について学内でアンケートを取りました。その結果、価値観の押し付けや相手のプライバシーへの侵入・友達付き合いの制限が思った以上にあることを知り、それを通して考えたことを発表しました（結果は下記）。

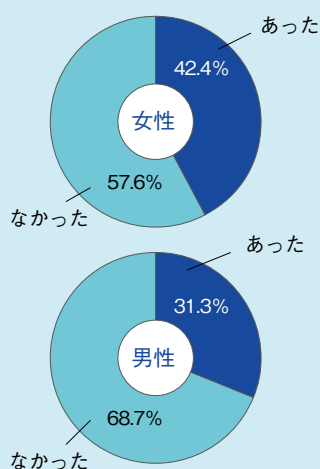
学生の皆さんは、今後も内閣府主催のデートDVのワークショップへの参加や学内での発表など、ヒトゴトではなくジブンゴトとして、一人ひとりが当事者意識を

もってできることをしていきたいと話していました。

交際相手についてのアンケート結果（武石ゼミ生調査）



交際相手からの被害経験の有無



都内の交際経験のある18歳から29歳の男女のうち、女性の4割以上、男性の3割以上がデートDVの被害経験があると答えています。
『若年層における交際相手からの暴力に関する調査』東京都 平成25年

中央大学 NHP が実施したデート DV の寸劇

1 男性から女性へ



男性 やっと試験が終わったね。
女性 うん、今度の土曜に友達と遊びに行くんだ。



男性 えっ、次の休みには一緒に行くって約束だったじゃないか？
女性 うん、日曜日に一緒に行くつもりだよ。なんで？



男性 恋人のオレより先に友達と行くっていうのか？（机を叩く）
女性 そんな怒らなくていいよ。

2 女性から男性へ



（男性の趣味はぬいぐるみ集め）
男性 新しいぬいぐるみが今日届いたんだ。
女性 可愛いね...



女性 近頃、「彼氏って変わってるね」って、うわさされているの。ぬいぐるみ集めるのやめてくれない？
男性 人の趣味はそれぞれだって言うてくれたじゃない？
女性 私をとるか、ぬいぐるみをとるか、さっさと決めて！決められないなら私が捨てる！
男性 そんな…。わかったよ。

「Stop the Violence」 ガールスカウトの若者たち

ガールスカウトは世界150カ国と地域で暴力をなくすための「Stop the Violence」キャンペーンを展開しています。事務局長の片岡麻里さんが日本各地での取組みを発表しました。宮崎県のガールスカウトの高校生たちのデートDV防

止小冊子の配布やスピーチの様子、山梨の高校生が「恋するってなんだろう」というワークシヨップを通して互いを尊重する学びを得る催しなど、それぞれの地域で中高生や大学生が取り組んでいるアイデアや実践についての内容でした。

途中、会場とスカイプで結んで、山口県の大学生・上田智子さんが高校生から取り組んできた活動を発表しました。ガールスカウトには、デートDVにならないために、好きな相手と大切にしたいことを書く「マイボイスプログラム」があります。上田さんは高校生の頃から、通っていた高校でも「マイボイスプログラム」を実施してくれるよう同級生や先生に働きかけ実現しました。その後、大学に進学してからも活動を続け、デートDVを卒論のテーマにし、現在も地域で活動を続けています。スカイプで結んでのリアルタイムの発表でした。

片岡麻里さんと
スカイプでつないだ山口県の上田智子さんのお話



上田さんの活動

平成25年、当時高校生だった上田さんはガールスカウトのデートDV防止の「マイボイスプログラム」を通っていた高校で行いました。



ガールスカウトが展開する Stop the Violence キャンペーン



宮崎県の「女性に対する暴力をなくすための啓発キャンペーンイベント」が実施され、宮崎県のガールスカウトの高校生が「暴力をなくすための研修で学んだこと」をスピーチし、メッセージボードを持って会場を歩きました。暴力防止をアピールし、「紫色の帽子」のクラフトとデートDV7つのストーリーの小冊子を来場者に配りました。

◆宮崎県ガールスカウトの活動の様子はコチラ
<http://blog.canpan.info/girlmiyazaki/>

世界での活動

暴力をなくし、少女の権利のために声をあげようとの活動が広がっています



パネルディスカッション



左から、武石さん、田家さん・李澤さん(中大 NHP)、齋藤さん・石塚さん(中大武石ゼミ)、野本さん(女性ネット Saya-Saya)、片岡さん(ガールスカウト日本連盟)

若い世代からだからこそ、
伝えることがある！

4つの団体の取組みの発表後、中央大学の武石智香子さんをファシリテーターに、会場からの質問も入れながら、ディスカッションを実施しました。

まず武石さんから、現在、日本では1週間に1人の割合でDV被害者が亡くなっている現状があるのに、まだまだ社会での関心が薄い。デートDVについても若者たちの認識は低い、当事者である若い人たちからの発信に意

高校生と支援者が一緒に作ったデートDV防止DVDと「思春期ノート」

暴力被害にあった女性と子どもたちを支援している女性ネットのSaya-Sayaの野本美保さんが、高校や大学等で実施しているデートDV防止プログラムや、高校生と一緒に作成したDVD「これからの二人」等を紹介しました。

このDVDは、Saya-SayaのデートDV防止講座を受けた後、都立高校の高校生が企画・出演し、教師や支援者の大人たちの協力を得



発表する野本美保さん

て作られました。高校生に起こりがちなデートDVの様子を生徒自身が台本にして演じました。また、女子高校生自身が経験したデートDVのインタビューも収録されています。

さらに、DV家庭で育った子どもたちと続いている思春期ワークショップから生まれた「思春期ノート」の紹介もありました。10代半ばからの「からだと心」の変化、デートDV、携帯電話やSNSの使い方、自分自身を守るための情報などが入った冊子で、これを使って10代の子どもたちとワークショップを展開しているとのこと。

デートDV防止への取り組み



デートDV防止講座風景

思春期の子どもたちとともに思春期ワークショップ



思春期ノート

- 女性ネット Saya-Saya が高校での講座でやってきた、思春期の子どもたちに伝えたい内容と、思春期ワークショップで行なった内容をまとめたもの。
- 思春期の子どもたちに関わる大人が、誰でもワークショップを開催できるように、ワークブックと教本を作成しました。



都立竹台高校の生徒たちとデートDV防止啓発のDVDを制作



生徒たちと制作したデートDV防止啓発のDVD「これからの二人」(平成21年)

- 竹台高校でデートDV防止講座を2年続けて開催した後、生徒たちが養護教諭に、デートDV防止の映像をつくることを提案。
- 養護教諭の呼びかけで、保健委員、演劇部、軽音楽部の1～3年生の有志が集まり、シナリオを作り、役者をし、音楽を演奏。Saya-Sayaは、シナリオを監修し、生徒たちと話し合いを重ね、撮影や音楽収録に関して専門家とつなぎ、サポートしました。
- その中で、参加していた女子生徒が自分がデートDVの被害者であったことに気づいて開示、インタビューと撮影に応じてくれ、インタビュー編ができました。

味があるとの発言がありました。

取組んだ動機や気づいた点について、学生たちは次のように話していました。

○同じ若者から発信すると、自分とは関係ないと思っていた同世代の人たちがデートDVに耳を傾けてくれると実感する。

○関わる前は、関心はあったが実感がなかった。けれど、被害を受けた女性や子どもたちに接し、生の声を聞いて衝撃を受けた。自分たちの立場で何かできないかと思うようになった。自分たちの周りの学生にアンケートをすることをきっかけにデートDVについて話す機会を作れてよかった。

○暴力防止のためにメッセージを発信するだけでなく、被害者がどんなことを望んでいるかに誠実に対応していきたい。続けることが大事だと思う。

○自身がハラスメントを受け被害者の辛さがわかる。被害を少しでもなくしたいとの思いから始めた。

また、参加者からは、「これまで知らなかったデートDVについて知ることができ、自分の無意識の行動を見つめ直すきっかけになった」「若者の発表を聞いて、大人である自分自身がどうするかを考えさせられた」「発表を通して、知る機会を得た、若い世代と一緒に防止啓発を進めていく大切さを再認識させられた」等の感想が多く寄せられました。

市民から 政治への女性参画を！

パリテ・カフェ @神田

*パリテ法とは

2000年にフランスで成立した法律。比例代表制の上院議員選挙では候補者名簿の登録順を男女交互にする」と規定。小選挙区制の下院議員選挙でも、男女の候補者の比率の差が大きいとその政党への助成金が減らされる仕組みが作られた。



パリテ・カフェのロゴマーク

男女が乗ったシーソーのバランスがとれている。シールになっているので、パソコンや身近なところに貼れる。



パリテ・カフェ@神田の会場風景

各国における男女の格差を測るジェンダー・ギャップ指数の日本の順位は114位(144か国中/平成28年)。特に政治の分野での男女格差が目立っています。女性の声を政治に届け、議会の男女比の偏りを変えていこうと活動する「パリテ・カフェ」について、呼びかけ人の上智大学の三浦まりさんにお話を伺いました。

政治について 話せる場がほしい！

昨年10月に、千代田区内神田で、パリテ・カフェが開かれましたが、どのような活動なのでしょう？

三浦 日本は世界の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数が世界で114位です。特に、政治の分野への女性の参画が少ないことがずっと言われ続けていますが変わっていません。どうしたら女性の議員を増やし、政治の分野で男女の偏りをなくしていけるかを考えた時、身近なところに、政治について話す場がないことに気づきました。そこで自由に、気楽に、暮らしのことで政治の話ができる場をつくりたいと思いました。

言ってみれば、パリテ・カフェとは、議会を男女半々にして、多様な声が政治に反映されることを望む人たちのおしゃべりの場なのです。

また、パリテ・カフェは話すだけでなく、市民の声を要望として議員や選挙の立候補者に届けていく実践もしようとしています。具体的には、カフェに参加する主に女性たち

が、日頃のモヤモヤを話すだけではなく、問題を解決するためには政治に参画することが大切だと気づき、議員等に要望を出していくということです。

昨年の10月7日に千代田区内神田で初めて開いたパリテ・カフェには、男性も含めて60名以上の参加がありました。まず、岡山大学の中谷文美(あやみ)さんに、人気ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」を題材に、家事労働を文化人類学的・社会的に説明頂きました。その後、その話をきっかけに、参加者が抱く日頃のさまざまな悩みや疑問を話し、解決のための要望をたくさん出し合いました。その要望を後日、私たちが地元の議員や選挙前の議員候補者全員に直接届けました。

その後、少人数のカフェが千代田区内の店舗スペースで実施され、都内の6カ所、名古屋、九州、四国など、全国でパリテ・カフェが開かれています。始める前はどうかと思いましたが、都内よりも地方での反響が大きく、こうした場のニーズがあることがわかりました。

「パリテ」って、何？

名前の「パリテ」というのはどんな意味なのでしょう？

三浦 パリテとは、フランス

語で、均等・半分半分の意味する言葉です。そこから派生して、意思決定の参加者を男女半々にする制度を指します。これまでは、「少数者が力を持つには場の3割以上を占めることが必要」と言われ、日本では議員の女性の割合を3割にしようとしてきました。

しかし、世界を見渡すと、すでに、フランスでは2000年に「パリテ法」*が成立し、そのフランスとカナダでは、内閣の大臣の男女比50対50を経験しています。

「議員が男女半々になれば政治は変わるの?」「そんなの無

理じゃない?」と思われるかもしれませんが、パリテが目指しているのは、みんなが自由に自分らしく生きることのできる社会です。女性ばかりでなく男性、性的マイノリティ、障害を持つ人、病気がちな人、子育てや介護をしている人、シングルの人、民族的なマイノリティの人など、多様な人たちの声が反映されるように、今の状況に風穴を開けていこうというのがパリテの考え方なのです。

敷居を低くして若い人の参加を!

パリテ・カフェを呼びかけるにあたって工夫されたことは?

三浦 敷居を低くして、特に若い人に参加してもらおう工夫をしました。リーフレットは、



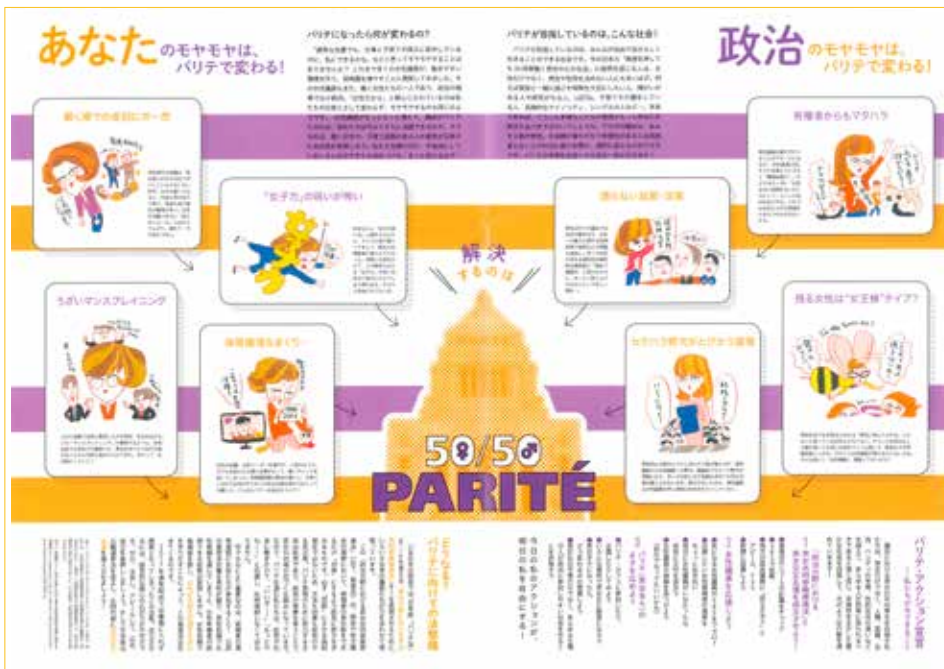
三浦まりさん

パリテ・カフェ呼びかけ人。上智大学法学部教授。政党政治のダイナミズムが法政策の形成に及ぼす影響の研究等。千代田区男女平等推進区民会議長。

パリテになったら何がかわるのか?



パリテ・カフェのリーフレット表紙



リーフレット中面(イメージ)

◆パリテ・カフェのリーフレットについて

「パリテとは何か」や、なぜ女性議員「5割」が必要なのかを、飲み会を例に男女比が変われば場の空気が変わっていくと例えて説明しています。

リーフレットの中間には、現状の課題があげられています。

男女の賃金差別や保育園の待機児童問題など主に女性たちが日常で困っているモヤモヤ状況や、女性に関わる政策がなかなか取り上げられない現状、女性議員が子どもを産むことに対して「職務放棄」と言うマタハラなど、政治の場での課題などです。

今の議会は男性が多数。議会の男女比の偏りを改め、男女比を50対50にしようと言う「パリテ」の試みは、多様性が尊重される社会の大きな一歩になると説明しています。

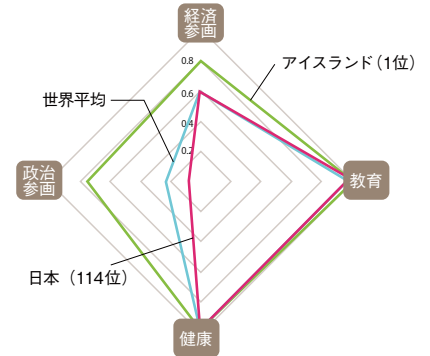
男女平等（ジェンダーギャップ）指数ランキング 2017 年

ダボス会議を主催する「世界経済フォーラム」が発表した男女格差の度合いを示す「ジェンダーギャップ指数」で、日本は世界 144 カ国中 114 位となり、過去最低だった前年の 111 位からさらに後退しました。

1 位	アイスランド	16 位	カナダ
2 位	ノルウェー	17 位	ボリビア
3 位	フィンランド	18 位	ブルガリア
4 位	ルワンダ	19 位	南アフリカ
5 位	スウェーデン	20 位	ラトビア
6 位	ニカラグア	...	
7 位	スロヴェニア	49 位	アメリカ
8 位	アイルランド	...	
9 位	ニュージーランド	100 位	中国
10 位	フィリピン	...	
11 位	フランス	114 位	日本
12 位	ドイツ	...	
13 位	ナミビア	118 位	韓国
14 位	デンマーク	...	
15 位	イギリス	144 位	イエメン

男女平等指数の項目別達成度図

男女平等指数は「経済参画」「政治参画」「教育の到達度」「健康と生存率」の 4 分野の 14 項目で、男女平等の度合いを指数化して順位を決めます。指数が「1」に近づくほど平等で、遠ざかるほど格差が開いていると評価されます。



国会議員の男女比率（国際比較）

順位	国名	女性 (%)	男性 (%)
1	ルワンダ	61.4	38.6
2	ボリビア	53.1	46.9
3	キューバ	48.9	51.1
4	ニカラグア	45.7	54.3
5	スウェーデン	43.6	56.4
6	メキシコ	42.6	57.4
7	フィンランド	42.0	58.0
8	セネガル	41.8	58.2
8	南アフリカ	41.8	58.2
10	ノルウェー	41.4	58.6
14	フランス	39.0	61.0
39	イギリス	32.1	67.9
43	イタリア	31.0	69.0
45	ドイツ	30.7	69.3
64	カナダ	26.3	73.7
99	アメリカ	19.4	80.6
127	ロシア	15.8	84.2
157	日本	10.1	89.9

◆世界 193 ヶ国中の国会議員の男女比を世界 10 位までと G8 の国々をグラフ化。
資料 IPU (列国議会同盟) の「国会における女性議員の割合 2017.12.1」から。

黄色を基調にポップな感じにし、イラストも入れてインスタ映えするようにしました。ロゴやマークはシールにし、パソコンや携帯電話など身近なところに貼ってアピールできるようにしました。また、ツイッターやフェイスブックなどの SNS (ソーシャルネットワークサービス) では、双方向性の発信を心がけました。

意識の高い女性だけでなく、すべての人が抱える何か変だと思ふモヤモヤが、実は政治の問題とつながっているという気

づきを得るため、まずは、パリテ・カフェについて、耳を傾けてもらえるようにと考えました。

議員に声を届けてみて

パリテ・カフェと一緒に運営している山本朱音さんと西川有理子さんは、やってみてどんなことを感じましたか？

山本 私は上智大学法学部 4 年生で三浦先生のゼミ生です。

回りのさまざまな問題が政治とつながっていると思いますが、共感してくれる人たちが大学以外にたくさんいることをカフェを通して改めて知りました。政治家の発言や提案する政策をみてみると、その人の背景にある価値観がわかります。選挙前に、その人が私たちが問題としていることをどのように見ているか、具体的に要望書を出すという実践を通して知ることができました。

西川 「何かおかしいよね」と思っている、どうすれば自分



パリテ・カフェ@神田でグループになって意見を出し合いました

パリテが目指しているのは、こんな社会！

パリテが目指しているのは、みんなが自由に自分らしく生きることのできる社会です。今の日本の「無理を押しても 24 時間働く男性中心の社会」に疑問を感じる人は、女性だけでなく、男性や性別を決めない人にも多いはず。例えば家族と一緒に過ごす時間を大切にしたい人、障がいがある人や病気がちな人、LGBTQs、子育てや介護をしている人、民族的なマイノリティ、シングルの人など…。

本来であれば、こうした多様な人たちの意見がもっと政治に反映されるべきではないでしょうか。でも今の議会は、およそ 9 割が男性。社会観が偏りがちで多様性があるとは到底言えないこの状況に風穴を開け、劇的に変えるのがパリテです。パリテは多様な社会への大きな一歩になります！

(パリテ・カフェ リーフレットから)



パリテ・カフェで出た要望を議員に手渡す



西川有理子さん

パリテ・カフェ事務局



山本朱音さん

上智大学法学部 4 年生

多様性に共感する 社会をつくる

パリテ・カフェを通して考える
これからの社会とは？

たちの声を政治に届けることができるかを考えたことはなかったと思います。今回、パリテ・カフェで出た要望を政治家に直接届け、間近で自分たちの声を聞いてもらう経験をしました。その後政治家がその声をどうするかはわからないけれど、市民の側からもアクションを起こすことが、本来のあるべき政治の姿のような気がしました。

三浦 昨年から、#Me Too を合言葉にセクハラ被害者が声をあげ、世界的にセクハラ NO! のムーブメントがおこってきています。声に出す人が少ないと、声に出すこと自体が難しく、出したとしてもその声は消されてしまいます。しかし、その数が多くなり共感する人が増えれば、少しずつでも社会は変わっていきます。

日本の議会での女性議員の割合は衆議院で 10.1%、参議院で 20.7%^{**}。圧倒的にその割合は低いといえます。政府は「女性の活躍推進」を掲げ、2020 年までに、「指導的地位に占める女性の割合を 3 割」

との目標を立てています。

議会で男女半々を目指すことは、遠い話と思われるかもしれませんが、女性対男性の表面的数だけに着目するのではなく、パリテが持つ多様さを尊重する社会への可能性を深く理解してほしいのです。そして、多様性を尊重する社会の実現のためには、やはり、具体的にはこれまで意思決定の場に少なかった女性を増やすことが大切だと思います。

パリテ・カフェは、どなたでも企画できます。自宅でも開催できます。あなたもカフェのオーナーになって、一緒に考えていきませんか？



三浦まりさんの研究室で

*衆議院 HP (平成 30 年 2 月現在) **参議院 HP (平成 30 年 2 月現在)

皆さんからの企画事業を実施しました

千代田区では、毎年、お互いの個性や能力を尊重し、認め合う「男女共同参画社会」を目指して区内で活動している団体や個人と共に、男女共同参画社会推進事業を実施しています。今年度実施した事業をご紹介します。

平成 29 年度
千代田区との共催
男女共同参画社会
推進事業の報告



「みんなの学校」上映と講演会

- 平成 29 年 11 月 18 日（土）
高齢者総合サポートセンターかがやきプラザ
1 階 ひだまりホール
- ゲスト 木村泰子さん
- 参加者 100 名
- 主 催 障がいをもつ子どもの現在（いま）と未来を
考える会



ゲストの
木村泰子さん

会場風景

私たち「障がいをもつ子どもの現在（いま）と未来を考える会」は、今回、区の男女共同参画社会推進事業に応募し『みんなの学校』上映と講演会を開催しました。映画や講演は、障がい、教育、地域共生についてのテーマで、参加年齢層も幅広く、来場者は総勢 100 名を超えました。映画の舞台となった大阪市立大空小学校の元校長、木村泰子先生の講演会では、障がいの有無に関わらずみんなが同じ教室で学び、学校、保護者、地域が協力し、児童を温かく応援している様子をお話し頂きました。一人ひとりの個性を尊重しつつ指導する先生方のチームワークはとても素晴らしく、講師の魅力的なお人柄と、パワフルなお話で元気を頂き、参加者それぞれが大事な何かを感じた講演会になったと思います。

（長谷川三恵子）

トークショー&交流会

「You は日本でどう働いている？ 外国人女性は日本での勤労をどう見ている？」

- 平成 30 年 1 月 27 日（土）区役所 1 階 区民ホール
- 出 演 ジャオ・ジャオさん（中国）、パルビナ・ハタモワさん（ウズベキスタン）、Enkhbaatar Tserenlkham：通称タムさん（モンゴル）、古久保俊嗣さん（主催代表）

- 参加者 45 名
- 主 催 NPO 法人エガリテ大手前



民族衣装を着た
出演者の皆さん

会場風景

NPO 法人エガリテ大手前は、女性にとっての社会環境の調査・研究（次世代育成環境ランキング、同「行動計画進捗度」ランキング等）や行政・企業への提言、講座等を行っています。今回、共催事業で、日本在住の 20 代のアジア出身の女性 3 名によるトークショーを実施しました。様々な統計データにも触れながら、普段あまり考える機会のない「外国人労働者」「留学」「国際化」「働き方」「国際結婚」「男女共同参画」などについて全員で考えました。聴衆が、スマホを通して、投票、クイズなどに参加するシステムも活用した、密度の濃いイベントになりました。若い外国人女性たちが、情熱を持って活躍の場を日本に求めていることは嬉しいことです。交流会では、和やかな雰囲気、新しいネットワークが生まれていました。

（古久保俊嗣）

あなたの企画を
実現しませんか？



男女共同参画をテーマにした事業を募集

「男女共同参画社会」を目指して区内で活動している団体や個人を対象に、男女共同参画センター MIW と共催する事業を募集します。

事業内容 男女平等意識の普及啓発に関する講座・講演会・シンポジウムなど。

募集テーマ ① 女性の活躍推進、キャリアアップ・スキルアップ ② ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）③ 配偶者などによる暴力（ドメスティック・バイオレンス）の予防啓発 ④ 男性の家事・育児・介護等の促進 ⑤ 性的マイノリティへの理解の促進 ⑥ 前の①～⑤以外で千代田区の男女共同参画社会実現に寄与するもの

支援内容 経費の一部を助成（上限 78,000 円、税込）、会場の確保（区立施設利用の場合）、ポスター印刷・配布など。

募集期間 平成 30 年 4 月 19 日～5 月 18 日

申込み・問合せ 男女共同参画センター MIW ☎ 5211 - 8845

※応募要領など詳しくは、パンフレット（MIW で配布）や千代田区男女共同参画センター MIW のホームページをご覧ください。

第5回 MIW祭り



会場風景 (区民ホール)



オープニング

「ヘルマンハーブちよだ」の皆さんの演奏



トークショー

トークショー「結婚についてみんなで語ろう!」の風景

昨年 (平成 29 年) 10 月 6 ~ 7 日、第 5 回 MIW 祭りを開催しました。今回のテーマは「みんなで和 話 輪 ~和やかに話そう輪になって~」。会場が広くなり、参加者は 700 名を超えました。登録団体の皆さんのイキイキとした表情に祭りの楽しさが表れています。

佐川急便
千代田営業所



ななかまど



Smile 研究会



千代田区女性史サークル



みゅうじろうパン
や肉球パンなど



さくら
ベーカリー
で販売

NPO 法人エガリテ大手前



DV 防止キャンペーン
グッズ等販売



NPO 法人女性ネット
Saya-Saya

(一社) 裁判員ネット



MIW 祭りの反省会の様子

参加した登録団体 (登録順、◆実行委員)

- ◆ ちよだ女性団体等連絡会
- ◇ (一社) 東京建築士会福祉まちづくり・バリアフリー特別委員会
- ◆ 千代田区女性史サークル
- ◆ ホームヘルパー全国連絡会
- ◇ 東京パツイチ応援倶楽部
- ◇ ななかまど
- ◆ NPO 法人エガリテ大手前
- ◇ すずらの会
- ◆ Smile 研究会
- ◆ 神保町応援隊
- ◆ (一社) 裁判員ネット
- ◇ (公財) 東京 YWCA
- ◆ 九段労務研究会
- ◆ キララ・ソーイング
- ◇ 家庭栄養研究会
- ◆ 千代田アマ・ビデオクラブ
- ◆ 子育てが楽しくなるママカフェ@千代田
- ◇ NPO 法人国際朗読こぼし協会
- ◆ 障がいをもつ子どもの現在と未来を考える会

千代田区内の大学 (50 音順)

- ◇ 上智学院男女共同参画推進室
- ◇ 中央大学学事部・中央大学 NHP (ノンハラスメントプロジェクト)
- ◇ 明治大学男女共同参画推進センター

企業と団体 (50 音順)

- ◇ 興産信用金庫
- ◇ 佐川急便 千代田営業所
- ◇ NPO 法人女性ネット Saya-Saya
- ◇ ジョブ・サポート・プラザちよだ
- ◇ エシカルショップ(株)スルシイ
- ◇ 東京商工会議所
- ◇ 日本政策金融公庫 東京支店

クイズラリー
の景品



ホームヘルパー全国連絡会



ちよだ女性団体等連絡会



子育てが楽しくなるママカフェ@千代田

フィリピン女性の自立を
支援するフェアトレード
商品の販売



エシカルショップ
(株)スルシイ



神保町応援隊



千代田アマ・ビデオクラブ



九段労務研究会



障がいをもつ子どもの現在 (いま) と未来を考える会

■情報交流会 MIW 千夜一夜第 100 夜
子育てしながら働ける社会について考えよう

■平成 30 年 1 月 17 日 (水)

■ゲスト：大山友理さん・中村舞さん (Women's Innovation)、小瀬村幸子さん (東京海上日動火災保険 (株))、斉藤裕子さん (株)リクルートマーケティングパートナーズ)
ファシリテーター：鈴木浩子さん (明星大学明星教育センター常勤教授)
現役の女子高校生と先輩女性をゲストに、子育てしながら働ける社会を考えました。



▲左から斉藤さん、小瀬村さん、大山さん、中村さん、鈴木さん



▲講座風景

■ MIW 講座

男性一人でも困らないプロから学ぶ片付け術

■平成 29 年 12 月 6 日 (水)

■講師：すはらひろこさん (片づくおうち収納環境プランナー)



▲講座風景

片付けのプロから整理整頓の 5 つの法則を学びました。事前の計画、整理時のポイントやコツ、収納用品の選び方等、多数の画像を使ったわかりやすいお話でした。



▲講師のすはらさん

■ MIW 講座

「介護する息子たち」から見えてくる課題

■平成 30 年 1 月 25 日 (木)

■講師：平山亮さん (東京都健康長寿医療センター研究所研究員)

息子による介護をテーマに統計から見える傾向、当事者の聞き取りから浮かびあがる夫婦やきょうだい、親子間の問題など、介護に関わる人もこれから可能性のある人にも役立つ内容の講座でした。



▲講師の平山さん



▲講座風景

■冬休み親子上映会&読み聞かせ
レオ・レオニ 5 つの名作集

■平成 29 年 12 月 2 日 (土)

「スイミー」で有名な絵本作家レオ・レオニの 5 作品を上映しました。子どもたちは様々なキャラクターが活躍する映像に見入っていました。上映後の読み聞かせでは、絵本に出てくるペンギンやパンダのまねをする体操を親子でして、元気な声が広がりました。



▲上映風景



▲親子で体操も

MIW 相談室

MIW の相談室では、夫婦関係、男女の生き方・働き方、性に関すること、セクシュアル・ハラスメントや夫婦や親密な間柄での暴力などについて相談を受けています。事前予約制・無料です (区内在住、在勤、在学の方対象)。まずはお電話ください。

※ 託児サービス (有料) があります。

☎ 03-5211-4316

◆相談日時

(英) = 英語での相談もできます。

火曜日
毎週 16:30 ~ 20:30

法律相談 (女性のみ)
第 2 13:00 ~ 15:30

水曜日
第 1・3・5 10:30 ~ 15:30
第 2・4 16:30 ~ 20:30

女性相談員や女性弁護士が担当します。無料。

木曜日
第 1・3・5 16:30 ~ 20:30
第 2・4 10:30 ~ 15:30

金曜日
第 1・3・5 10:30 ~ 15:30 (英)
第 2・4 16:30 ~ 20:30 (英)

土曜日
第 1・3・5 10:30 ~ 15:30
第 2・4 10:30 ~ 15:30 (英)

MIW インフォメーション

ビデオサロン&カフェ

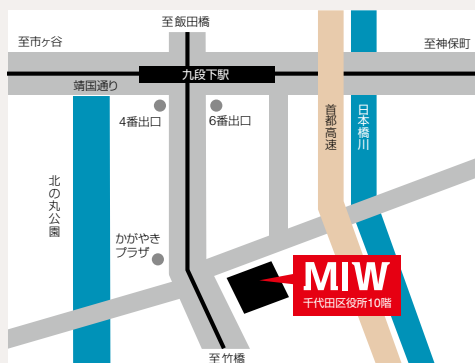
マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙

◆ 4 月 20 日 (金) ① 14 時 30 分 ~ ② 18 時 30 分 ~
イギリス史上初の女性首相で、その強硬な性格と政治方針から「鉄の女」と呼ばれたマーガレット・サッチャーの自伝的映画。政治の世界と私生活での顔、男性社会で奮闘、苦悩する姿が描かれています。

あしたの Pasta はアルデンテ

◆ 5 月 18 日 (金) ① 14 時 30 分 ~ ② 18 時 30 分 ~
南イタリアの老舗パスタ会社の次男トンマゾは、同性愛者であることを家族に打ち明けようと決心していたが、跡取りの兄が先に爆弾発言をする。家族はパニックになり、小さな町は噂で持ちきりに。セクシュアル・マイノリティや家族をテーマにした笑いっぱい、時にしんみりとさせる作品。

◆会場はともに MIW 交流サロン
(当日直接会場へ/各回終了後カフェあり)



千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)

所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 10 階
交通機関 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩 5 分
開館時間 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 9 時 土曜日 午前 9 時～午後 5 時
休館日 日曜日、祝日、年末年始
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846
E-mail miw@city.chiyoda.tokyo.jp Facebook @chiyoda.miw
URL http://www.city.chiyoda.lg.jp (「暮らし・手続き」▶「男女平等・人権」▶男女共同参画センター MIW からお問い合わせ)

■編集後記

さくらの咲く季節となりました。いつも MIW 通信をご覧いただきありがとうございます。平成 30 年 10 月、MIW は開設 20 周年を迎えます。これまで MIW をご利用・ご活用いただき、応援くださった多くの方々に感謝申し上げます。これからも地域の男女共同参画の拠点施設として愛されるセンターとなるよう様々な事業を実施していきます。引き続き、千代田区男女共同参画センター MIW にご注目ください。(Y)